

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
工業	情報技術基礎	2	2	セラミック	必修	精選情報技術基礎 新訂版 実教出版

1. 学習の到達目標

社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解させるとともに、情報技術に関する基礎的な知識と技術を習得させ、情報及び情報手段を活用する能力と態度を育てる。

2. 学習の評価

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の規準	社会における情報化の進展と情報の意義や役割、情報技術に関する基礎的な知識と技術について関心を持ち、その理解と習得を目指して意欲的に取り組むとともに、情報及び情報手段を活用するための創造的、実践的な態度を身につけている。	社会における情報化の進展と情報の意義や役割について考え、情報及び情報手段を活用することについて適切な判断ができ、課題の解決を図ることが出来る。	社会における情報化の進展と情報の意義や役割に関する事例を収集し、情報技術に関する基礎的な知識と技術を身に付け、その技術を適切に活用し、表現することができる。	社会における情報化の進展と情報の意義や役割に関する基本的な知識を身につけ、その重要性について理解している。情報技術に関する基礎的な知識と技術を身につけ、これらの内容及び活用方法を理解している。
評価の方法	授業態度、学習の取り組み状況、課題・宿題・ノートなどの提出物の状況、定期考査、小テストなどを総合的に判断して評価します。			

3. 教科からのメッセージ

エレクトロニクス技術と通信技術の急速な発展によって情報技術革命が起こってきました。特にコンピューターの高性能、小型化とインターネットの普及によって企業では事務の省力化や製造の自動化が進められています。家庭においても通信の発展によってあらゆる情報が得られる時代となりました。私たちは多くの情報から必要とする情報の選択や社会に適応できる能力を習得します。

学期	月	学習項目 (単元・考査等)	主な学習内容
一学期	4	(1) 産業社会と情報技術	情報化の進展が、産業社会や社会生活に及ぼす影響などに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現状と今後のあり方について学ぶ。
	5	ア 情報化の進展と産業社会 イ 情報のモラルと管理	
一学期	6	(2) ソフトウェア	ソフトウェア基礎であるオペレーティングシステムと代表的なアプリケーションソフトウェアの基礎的・基本的な知識を身につけ、ソフトウェアの種類とその役割に応じた活用方法を学ぶ。
	7	ア オペレーティングシステムの基礎 イ アプリケーションソフトウェアの利用	
二学期	9	(3) プログラミング	プログラムの作成手順及び BASIC 言語の基本的なコマンドについて知識を身につけ、プログラム及びデータの取扱いについて学ぶ。
	10		
	11	(4) ハードウェア	ハードウェアにおける周辺装置の適切な活用方法を身に付け、目的に応じた利用をすることができる。論理回路の特徴を身につけ、真理値表、式、図記号を用いて様々な回路を作成することができる。
12	ア 論理回路 イ 処理装置の構成と動作		
二学期		(5) 情報技術の総論的学習をもってパソコン利用技術3級の受検を行う。	
三学期	1	(6) マルチメディア・制御・通信	マルチメディア・制御・ネットワークに関する基礎的な知識を身につけ、産業社会や社会生活に与える有用性について考え学ぶ。
	2	ア マルチメディアの活用 イ コンピューター制御 ウ データー通信とネットワーク	